

事業所名

Granny（グラニー）横浜都筑

支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

27 日

法人（事業所）理念		重症心身障がい児等における個々の特性をふまえ、5領域に根ざした無理のない活動や支援を通じADLの向上とあわせてSSTを実施する。						
支援方針		○個々の特性を詳細に把握し5領域を具体化した活動の中で現時点で可能なこと、将来に向かって目標とすることを的確に見極め、個々の児童にあった支援を行う。 ○支援にあたっては、保育士・児童指導員、看護師、理学療法士等、専門職による観察結果や分析結果に基づき、各々の専門的知識を融合させることで総合的な支援を行う。 ○支援にあたっては、家族とのコミュニケーションを十分に図りながら児童の特性について全体像を明確化したうえで、職員の専門性を活かしながら適切な支援を行う。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	○側弯、四肢の拘縮および変形の緩和を目的にPTによるリハビリやPTの指導のもと職員によるストレッチやマッサージを実施する。また、必要に応じ喀痰吸引を実施し誤嚥を防止する。 ○食事において職員が補助具等を活用しながら適宜介助を行い、特性のレベルに応じ食事動作における自立を目指す。 ○職員による補助を実施すれば歩行可能な児童には声掛けにより排泄を促し、排泄行為における自立を目指す。 ○希望に応じシャワー浴を行うことで、児童における清潔保持および健康増進を促す。						
	運動・感覚	○遊びの中に手指の運動や巧緻運動を取り入れ、機能の維持、向上を目指す。 ○遊びやレクリエーションの中で音楽にあわせたダンス等を取り入れ、リズム感や協調運動の獲得を目指す。また、バランスボールの活用によりバランス感覚を養う。 ○スライム作り等の遊びや料理における調理加工の中でモノに触れ、手指からの刺激を伝えることによって多彩な感覚を養う。 ○読み聞かせやハンドベル等、言語及び音による多様な刺激を与えることによって聴覚や想像力を養う。						
	認知・行動	○おやつを複数用意し選択できることを認知させたいと、目線等により自らの意思でおやつを選択させ、認知、それに基づく行動を経験できる機会を提供する。 ○買い物体験を通じて、欲しいものの認知・選択、購入までの行動を経験できる機会を提供する。						
	言語 コミュニケーション	○自分の名前がひらがなで理解できるようになること、更に書字の可能性を見極め、練習を重ねることによって書字が可能となるように支援を行う。 ○特性に応じて、目線やハンドサイン等、言語の代替となる方法により、意思表示が可能となるように支援を行う。 ○発語が可能な児童には、意思表出や対話のサポートを繰り返し行いながら、コミュニケーション能力を獲得できるように支援を行う。						
	人間関係 社会性	○集団でできるゲームやレクリエーションを通じて、特性に応じた人間関係の構築方法や社会性を獲得する。 ○買い物体験を通じて家族や職員以外の人々とふれあい、コミュニケーションを行うことで、特性に応じた人間関係の構築方法や社会性を獲得する。						
家族支援		利用児童の特性等により利用児童と家族との関係に配慮が必要なケースがあれば、利用者家族に働きかけ相談対応を行うほか、課題解決に向けて相談支援専門員等の専門機関を紹介する等の対応を行う。				移行支援		卒業後の進路に向けた支援プログラムを策定し実施する。また、卒業後の進路決定のための情報提供を行う。
地域支援・地域連携		地域による総合的な支援の獲得を目的とし、利用者の住居地に設置された自立支援協議会への参画、地域支援団体との交流、ならびに療育センターや医療的ケア児・者支援拠点との連携を図る。				職員の質の向上		強度行動障害支援者養成研修等、外部研修の受講、支援学校開催の研修会への参加により職員の質の向上を図る。
主な行事等		お正月のお祝い、初詣、節分豆まき、ひな祭り、お花見、プールでの水遊び、七夕まつり、ケーキ作り等クッキング、クリスマス会、誕生日会、卒業式、お散歩、コンサートへの参加、観劇等						